

炭素 14 年代測定を利用した縄紋時代中期重複住居群の分析

— 神奈川県相模原市大日野原遺跡発掘調査成果から —

小林謙一・矢嶋良多・河本雅人

目的 縄紋中期（勝坂式～加曾利 E 式）の神奈川県相模原市大日野原遺跡を中央大学考古学研究室・相模原市博物館 2008-2011 年度調査により、調査面積 80m²に 7 基の勝坂式～加曾利 E 3 式期の重複住居群を確認した。炭素 14 年代測定を利用し、先史時代の集落・居住の継続期間を実年代で検討するため、遺構の重複関係が検証できるセクション面を中心に炭素 14 年代測定用の炭化物試料数十点を採取し年代測定することで、重複の時間差や床面・柱穴・炉等の作り直しの時間の長さを検討する。

年代測定研究 遺構重複の順序に沿い、古い順に SI05 住確認面・覆土→SI01 住炉・床→SI01 住覆土、SI03 住炉・周溝→SI02 住柱穴・床→SI02 住覆土→SI06 住炉に帰属する炭化材を選び、年代測定をおこなう。測定試料は調査中に位置を記録し、出土状況をメモ写真として撮影するなど、状態が確認できるものを選ぶ。

1) 縄文中期竪穴住居の構築→周溝や炉の作り直し→生活→廃絶→埋没→新たな住居の構築のライフサイクル（小林 2004）の時間経過復原とする。炭素 14 年代測定は誤差範囲を含み数十年の分解能だが、時間経過が分かる連続的試料を測定し校正曲線と比較する。

2) 遺構の構築時の床面・床下・柱穴下部などに混在する炭化物の年代や、廃絶後の住居覆土に混ざり込む新旧の炭化物を測定値のばらつきを捉え、遺構一括と理解されてきた住居跡出土資料（土器・石器）の時間的まとまりを検証する。同時に年代測定用炭化物試料の遺構への帰属について検討する（千葉県野田貝塚縄紋前期住居測定例（小林 2005））。

以上の 2 つの目的は、矛盾する点もあるが、出土状況に関する目視した帰属層位とドット・写真による整理段階での確認や測定試料の状況（炭化材の場合は樹種や遺存状況）、試料の前処理・二酸化炭素化における回収率などの確認により、試料自体の由来（どの段階で遺構に残されたか、燃料材か構築材か）について検討する材料となる。

1 号住居出土試料を炉内から覆土まで 4 点、2 号住居を炉内・柱穴内から覆土まで 9 点、3 号住居を炉内・周溝内から 3 点、5 号住居覆土試料を 1 点、6 号住居・床面出土試料を 3 点、SK4 貯蔵穴出土試料を 1 点である。大まかに見ると、住居の重複関係と対応して古い住居が古く新しい住居が新しいが（2 号住）、最も新しい 6 号住居出土試料は古い年代を示すなど、重複関係による試料の移動・土壌の混在が考えられる。

2 号住居出土試料について概略すると、炉内・柱穴内の測定値は、4115・4170¹⁴C BP、床面出土の炭化材は 4265¹⁴C BP で、炉や柱穴の年代が埋没に用いられている土器の時期に相当しているのに対し、床面出土炭化材はやや古い年代を示している。さらに、覆土中の炭化材の測定結果を見ると 4160～4360¹⁴C BP の測定結果を示し、住居生活面よりも古い年代値が多い。かつ層位的にも層序と相関せず上下から新旧の年代が入り交じって出土している。このことから、住居の生活面には混在は少ないが、埋没土には住居構築時よりも古い炭化物が激しく混入していることがわかる。さらに測定数を増し、細かい炭化材・炭化物の移動の状況から、埋没状況や土壌の由来を探ることができるのではないかと考える。

SI-02 の層位・重量別出現頻度グラフと出土状態からの検討

重量・層位別の出現頻度を概略すると、15 g 以下の小破片のものが主体的であり、大破片も含め 2・3 層といった覆土下～中層からの出土が多い。各層の割合は数量に比例しており、重量の面では層ごとの差は見られなかった。

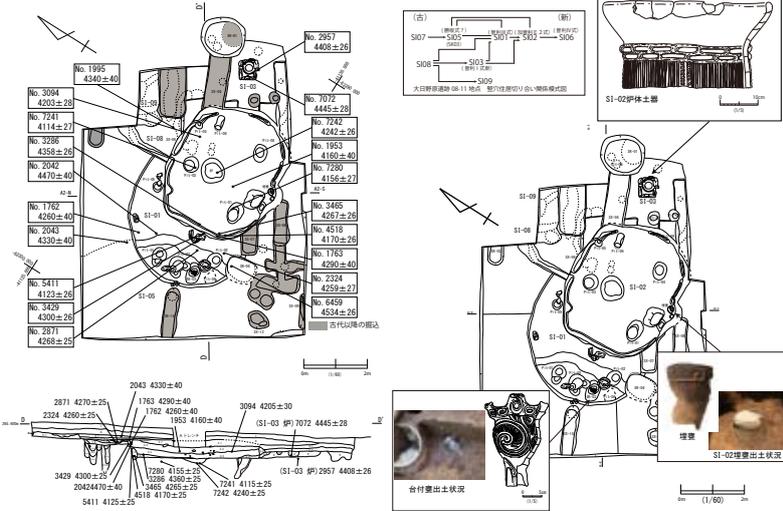
層位・重量別分布では覆土下層にあたる 3・5 層では遺物が散在する。それに対して 2 層では住居南側に大破片を含む土器の集中箇所が把握できる。集中箇所は断面でも確認でき、2、3 層の境に遺物が集中している。以上の出土状況から、3 層埋没後の一括廃棄の行為が想定できる。3・5 層に関しては遺物が散在している点から住居の埋戻しも含み短期間の埋没が考えられ、住居廃絶後の廃棄行為の復元が期待できる。

最後に、本研究は、科研費基盤 C「炭素 14 年代による縄紋集落の研究」、中央大学特定研究、国立歴史民俗博物館基盤研究等の成果である。相模原市教育委員会、歴博年代測定グループなど協力を得ている。文献は略する。



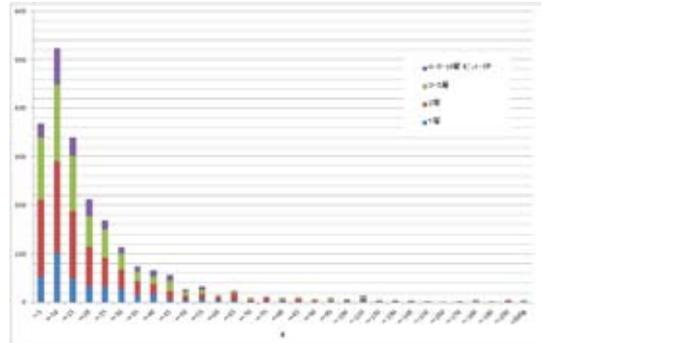
大日野原遺跡の位置

A 調査区（南西から）

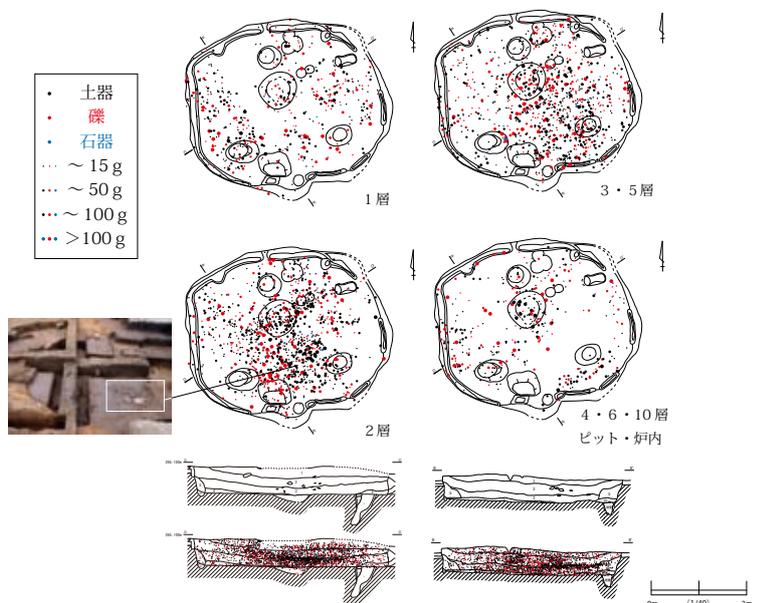


炭素 14 年代測定結果

出土遺物と切り合い関係模式図



SI-02 の層位・重量別出現頻度グラフ



SI-02 重量・層位置別の出土状況